

名古屋能楽堂

三月特別公演

能・狂言が映す“時代” — 改元に寄せて —

不安な時にこそ、エンターテインメントを

生きているのがやっとの時。決してお腹はふくれないけど、
暑さ寒さも変わらないけど、誰かの歌声に救われることがあるという。
「応仁の乱」の後に生まれた“観て聴いて楽しい能”には、
苦難の時代にこそ輝く、芸術の力が感じられる。

能

「船弁慶」(金剛流)
シテ 加藤かおる

狂言

「鍋八撥」(和泉流)
シテ 野村又三郎

能

「胡蝶」(観世流)
シテ 瀬戸 洋子

能「胡蝶」

能「船弁慶」

令和2年

3月7日(土)

13:30開演 (13:00開場)

指定席5,200円

自由席(一般)4,100円

自由席(学生)2,100円

※当日券は自由席のみ500円増となります。

■ご来場の方に抽選で素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から抽選で10名様に能楽グッズをプレゼントします。
※ご入場の際にお配りするパンフレットに応募券[ご応募の締切は休憩終了まで]が入っておりますのでご確認ください。

●イヤホンガイド 演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。(日本語/英語)
Noh performance Guide/Rent-free for a wireless headset (Japanese/English)

写真提供:
豊嶋彌左衛門

12月25日(水)より
前売券発売

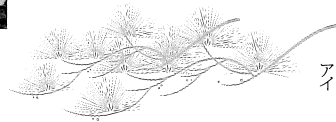
写真提供:
公益社団法人 能楽協会

主催



公益社団法人 名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部

能
胡蝶 観世流

前シテ 里女
後シテ 胡蝶の精
ワキ 旅僧
アイ 所の者

瀬戸 洋子
橋本 宰
今枝 郁雄

笛 鹿取 希世
小鼓 船戸 昭弘
大鼓 河村裕一郎
太鼓 鬼頭 義命

後見 久田三津子
久田 勘鷗

地謡
角田 尚香 松山 幸親
伊藤 裕貴 祖父江修一
吉沢 旭 山中 雅志
本田 勲 清沢 一政

休憩十五分

「イヤホンガイド」

◆能「胡蝶」
日本語／伊藤 利香
(名古屋能楽堂イヤホンガイド)

英語／川崎 瑠子
(能楽イヤホンガイド名古屋)

◆能「船弁慶」
日本語／橋場 夕佳
(能楽研究家)

英語／南谷みどり
(能楽イヤホンガイド名古屋)

都合により出演者等が変更となる
場合がござります。
あらかじめご了承ください。

狂言
鍋八撥 (和泉流)

シテ 早鍋売
アド 鞆鼓売
アド 目代

野村又三郎
鹿島 俊裕
松田 高義

笛 竹市 学
後見 藤波 徹

能
船弁慶 (金剛流)

前シテ 静御前
後シテ 平知盛の霊
子方 源義経
ワキ 弁慶
ワキツレ 郎党
アイ 船頭

加藤かおる
酒井 彩花
飯富 雅介
梶元 正樹
井上松次郎

笛 竹市 学
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村眞之介
太鼓 加藤 洋輝

後見 竹市 幸司
豊嶋彌左衛門
百々 康治

地謡
赤星 惠美 山根 泰子
大川 磨美 鈴村 昌美
熊谷眞知子 伊藤 雅子
田中 春奈 羽多野良子

(午後五時頃終了予定)

◆能解説「胡蝶」(こちょう)

吉野の奥に住む僧が、都を見物しようと上京し、一条大宮のあたりをやつて来ます。そこには古宮があり、梅の花が今を盛りと美しく咲いています。僧が眺めていると一人の女が現れ声をかけ、宮や梅の木について語ります。僧が女の素性を問うと、自分は人間ではなく胡蝶の精だと明かします。花から花へと戯れる身ではなく早春の梅の花とは縁がないことが悲しく、御僧におすがりし法華経の功德を受けたいと語ります。そして、もう一度夢の中で会いましよう、夕空に消えてゆきます。(中入り)

僧は所の人からも宮や胡蝶の話の聞き手です。僧が木陰で仮寝をしていると、夢に胡蝶の精が現れ、功力により梅の花との縁を得られたことを喜び、花に飛び交う胡蝶の舞を見せます。やがて夜明け近くなると霞にまぎれるように去ってゆきます。

◆狂言解説「鍋八撥」(なべやつばち)

所の目代(代官)は新たに市を開設するにあたって高札を掲げ、最初に到着した者に諸税免税の特権を与えると周知します。この触書きを知った羯鼓売りや早鍋売りが先着を巡って口論となり、これを見咎めた目代が仲裁に入ります。互いに自分の商売物こそその市の代表に相応しいと故事まで引き合いに両者は主張するので、目代は何か勝負をして決着するよう提案します…。

現代では一見ピンとこない商売物を取り上げていますが、早鍋とは焙烙とも云われる薄手素焼きの土鍋を指し、市の重要性や賑わいを物語る上で中世庶民の日常や生活感が垣間見えます。何事にも的確で機敏な対応を見せる羯鼓売りとは対照的にどこか鈍い早鍋売り、両者の対比が見どころで、商売人の対立や自慢話として類曲に「酢薑」「膏薬煉」「牛馬」があります。(井上松次郎)

◆能解説「船弁慶」(ふなべんけい)

平家追討に功績をあげた源義経であったが、兄・源頼朝の疑いを解くため、弁慶と家臣ら連れ都を出、摂津国尼ヶ崎大物浦から西国へ落ちのびる。弁慶は、静御前も義経を慕ってついて来ることを知り義経の同意を得て帰ることを促す。静御前はそれを疑い直接尋ねるも義経からも帰ることを勧められ、やむなく別れの酒宴に出席する。悲しみに沈みながらも再会を堅く信じ、舞を舞って一行を慰めたのち、泣く泣く去って行く。

やがて義経一行は船に乗り大海原に出航すると間もなく、今まで晴天であった天気が俄かに変わり静かな海上に黒雲がたちこめ、暴風雨となつて荒れ狂う。そして荒海の上に西国で滅びた平家の大将平知盛の幽霊が現れ、義経を海に沈めようとして長刀を持って斬り掛かるが、弁慶は数珠を押し揉んで祈り退けやがて弁慶の法力によって引く汐に流れ消えていく。(加藤かおる)

三月特別公演事前学習講座

2月22日(土) 14:00~16:00

[受講チケット] 三月特別公演とのセット券600円、一般券1,000円 ほか

◆能「胡蝶」「船弁慶」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

※定例公演とのセット券を含む事前学習講座のチケットは、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金(税込み) *前売券発売日 令和元年12月25日(水)

	指 定 Reserved	自 由 Non reserved plus ¥500, on the day	
		一般 Adult	学生 Student under 25 years old
前 売 Advance sale	5,200円	4,100円	2,100円

*当日券は自由席のみ500円増となります。*学生券は25歳以下を対象とします。

*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は1割引(学生券をのぞく)
(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ、各割引の併用はできません。)

*上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外はお断り下さい。*未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂／TEL.052-231-0088

*前売券発売日当日は、お電話が繋がりにくいことがあります。

名古屋市文化振興事業団チケットガイド／TEL.052-249-9387
(平日9:00~17:00/チケット郵送可)

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。

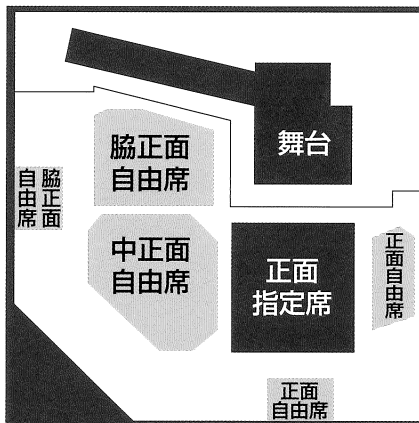
(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)

楽プレチケ92／TEL.052-953-0777

チケットぴあ／TEL.0570-02-9999 (Pコード 498-840)

*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも1割引きします。(名古屋能楽堂取扱いのみ)

To visitors who bring their passports or the likes which prove respective foreign nationalities, advance/day tickets are available at a 10% discount. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ／名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756 <http://www.bunka758.or.jp>

*地下鉄・バス等公共交通機関をご利用ください。

ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい
「友の会」会員募集中!

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385